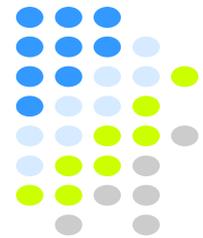


とっとり・グローバルウォッチ

とっとり貿易支援センター情報誌



2010年6月17日

VOL. 43

現地発！台湾月刊レポート 36

芸術・技術交流の時代「砂像フェスティバル」と台湾パン事情

台湾でも「砂像フェスティバル」が開かれている。実力やいかに？さて台湾では、パンの競争が熾烈である。それにともない味が向上している。日本への技術指導も始まった。技術輸入から、交流の時代が始まっている。

■台湾でも砂フェスティバルが開催

台北から東北にあたる「福隆」という海辺の町で「砂像フェスティバル」が開かれている。今年の台湾は、梅雨に入り雨がが多く低温が続いている。砂像も崩れたりしているが観客は引きをきらない。私は先日鳥取砂丘を訪れた。鳥取でも砂像フェスティバルが開催される寸前であった。これが頭をよぎったので台湾での砂像フェスティバルについて書く。今回の「福隆砂像フェスティバル」では、大型砂像が二点。一点は、アメリカ隊の「熱帯天国」そしてもう一点は、日本と台湾人芸術家によるたくさんの合作像である。観客は大喜び。このフェスティバルは第三回になる。福隆の隆

の字が「龍」と同じ発音から、靈鷲山心道法師が龍の砂像に眼を入れたりするのが台湾中華風。交通部観光局の賴瑟珍によれば、来年は、もっと国際的に有名な砂像作家を呼ぶ予定との事。鳥取県も交流をしてはいかがかと思う。台湾作家隊の王さんによれば、砂像とは「無から有を産むものである」深い芸術である。砂の彫像過程は、風雨に浸食され、蟹に穴を開けられ、はかないものでありしかし尊いことが、分かって頂いたのではないかと、言う。「福隆砂像フェスティバル」は、6月27日まで開催なので、FOOD TAIPEIに参加される方も鳥取と台湾の砂像を結ぶ機会として訪問されたいかががでしょうか。

電話番号：+886-2-2499-1210（台湾）
インターネット：

<http://www.necoast-nsa.gov.tw/>

以下に写真を掲載しますので、眼の肥えた鳥取の方、チェックしてください。

<次頁へ続く>



目次

現地発！ 台湾月刊レポート 36	P 1～ P 2
FOOD TAIPEI 2010 に出展します	P 2
最新の上海 ～現地レポート～ 27	P 3
お知らせ	P 4

世界の祝日 7月

- 香港 1日 香港特别行政区
設立記念日
- タイ 1日 年央休暇
26日 三宝節
27日 入安居
- 米国 5日 独立記念日

出所：ジェットロ通商弘報
「世界の祝祭日2010年版」から

■電子出版が注目の的

台北では「Computex2010」を開催中。今年は、過去最大の出展数となった。私も数日間会場とセミナーを回ったが熱気を感じた。出展者友人によるとバイヤーの大部分が中国大陸の人たちで大変驚いている、今までにない動き、とのこと。今回の展覧会の目玉は、iPadに近いポータブルコンピュータ。様々なデバイスが提供されている。特に電子出版に代表される分野は、脚光を浴びていた。今月、鳥取県企業も出展する国際食品見本市「FOOD TAIPEI」でもそうだが、そろそろ皆様も電子カタログ、電子説明書ということを研究されてはいかがだろうか。iPhone、HTCをはじめ台湾人は、日本以上に携帯端末を使用している。また電子ファイルは、いつまでも検索対象としてインターネット上で残り、賞味期限も長い。

■台湾の食品分野の発展

今月は国際食品見本市「FOOD TAIPEI 2010」もあるので食品関係の話題。正直な話をするが台湾のケーキ、パンを私は食べない。「甘い、でかい、派手」これだけだからだ。ところが、現地駐在の日本人女性に諭された。「現実を直視せず、モノを語ってはいけない」と。彼女いわく、この分野は今では日本と遜色がないと言う。数年ぶりに食べてみて驚いた。彼女の言うとおりで。レベルが高くなっている。そして驚いたことに「世界パンコンテスト」で台湾人が優勝してしまったのだ。また酒分野でも、スコットランドのモルトコンテストで台湾宜蘭酒蔵が覆面テストで優勝してしまったのである。日本の食品は「安全とおいしい」と言うことをモットーにしてきた。そして日本から台湾に技術導入を図ってきた。いわゆる「教えてやる」という態度。電子技術、新幹線、土木技術等々。ところが台湾のほうが技術大国になってしまった。食品の分野もこれに続いているように見える。実際、「世界パンコンテスト」に優勝した呉さんは、ストイックな生活を続けている。台湾にありがち

な、コンビニや企業間各社との合作話にも乗らず淡々とパン道を精進している。そして彼の素晴らしいところは、「地産」の概念を貫き、それを広めようとしていることだ。各社の儲け話には乗らず、地元果物の広告宣伝マンとしての仕事は積極的に受け入れている。呉寶春さんは、今月東京と九州を訪問し、日本で講習会を開くことになった。ライチを使用したパンである。彼いわく、材料と作り方、技術をすべて日本の方に公開したいと。同時に台湾産果物、農家の宣伝をし、台湾を助けたいと意気込んでいる。日本は、技術を輸出している自負があったが、技術導入の時代になったことが興味深い。台湾のパン市場は、様々なパン屋が勃興しており、まさに戦国時代に突入し、切磋琢磨をしている。台湾でのパンについては日本の「山崎パン」も負けていない。派手な活動をしていないが、地道にがんばっている。台湾子会社は1981年に設立。第一店舗は、SOGO。そして2000年にコーヒー店併設パンショップを台湾国鉄の板橋駅に設けた。現在では、数多くの支店を台湾国内に持ち、専門店、支店を増やしている。最近台北駅裏にできた「京站時尚廣場」にできた京站店も綺麗な店舗で、お客がひっきりなしである。台湾を訪れた方は、ぜひのぞいて欲しい。写真は、台湾資本のパンチェーン店。



私たち日本人は、芸術・技術交流の時代になっていることを知る良い機会だと思う。私たちは、より知恵とアイデアを出していく必要がある。

【(株)スナーク 富田】

FOOD TAIPEI 2010に出展します 鳥取県内企業5社がチャレンジ!

当機構では、海外初心者の方の県内企業様に海外販路開拓のきっかけとなる場を提供する目的で、台湾・台北市で毎年開催されている国際食品見本市「FOOD TAIPEI」にこれまで4年連続で出展し、台湾の食品市場への販路開拓を支援してまいりました。

5回目の出展となる今年は、鳥取県内企業5社で台湾市場へチャレンジします。

■見本市概要

名称：FOOD TAIPEI 2010
(第20回台湾国際食品見本市)
日時：2010年6月23日(水)～26日(土)
午前9時～午後5時
会場：台北ワールド・トレード・センター南港ホール
主催者：TAITRA

■昨年実績

●FOOD TAIPEI 2009概要：
出展国数 825社
出展国数 23カ国・地域
来場者数 46,655人

●当財団ブース出展概要：
9社(6ブース)、ほか1社が単独出展

●当財団商談件数：
会期中188件(うち、成約3件、成約見込8件)

「FOOD TAIPEI 2010」会期中に台湾を訪れる機会がありましたら、是非会場へお越しください。



写真上：
昨年の鳥取県ブースの様子

【(財)鳥取県産業振興機構海外支援グループ 早川】

最新上海 ～現地レポート～ 27

万博、世界旅行博覧会、訪日旅行に向けて

■万博来場者増加、6月の祝日にも期待

上海万博が開幕してから1ヶ月が経った。開幕直後の入場者数低迷は予想外だったものの、徐々に入場者数は増加していき、29日の入場者数は50万人を突破した。テレビでもその日の万博来場者が随時報道されているが、来場者数の増加とともに、人気の高い日本館での待ち時間も長くなっており、5月29日の待ち時間は4時間以上だったようだ。

6月には、2つの祝祭日があり、更に国内各地からの観光客が増えそうだ。まず1日の児童節は、満14歳未満の子供は半日休暇となるほか、その父母も半日あるいは1日休暇を取ることができる。万博会場でも、子供向けのイベントが繰り広げられ、海宝（ハイバオ：上海万博公式マスコット）や各パビリオンのキャラクターによるショーや記念撮影のほか、日本産業館など優先的に入館できる場所もあった。そして14～16日の端午節は、中国の法定祝日となっている。この3日間は指定日のため、指定日券（万博チケットの種類については本誌第41号参照）での入場が必要になる。

■上海世界旅行博覧会

各国・地域の万博出展にともなう目的は様々だが、中国人観光客の誘致効果を狙っている国・地域は多い。近年、中国人海外旅行者数は年々増加しており、2009年度のそれは4766万人だった。日本では昨年度の訪日外国人数が減少する中、中国人旅行者のみが増加したことは記憶に新しい。今や、世界が中国人旅行者獲得を狙っている。そんな中、去る5月27日から29日にかけて、上海世界旅行博覧会（<http://www.worldtravelfair.com.cn>）が開催され、中国も含めて450以上の国・地方団体のほか、旅行会社、交通社が出展し、日本からはJNT0（日本政府観光局）を始め、JR西日本、JR東日本、JTBほか地方自治体が出展した。同博覧会は今年で7回目を迎えるが、今回は万博開催期間中ということで、来場者数も伸び、大変盛り上がった。来場者は物産展示を見ながら、

パンフレットやノベルティグッズを手にし、郷土芸能やショーが始まると大勢の人が集まった。



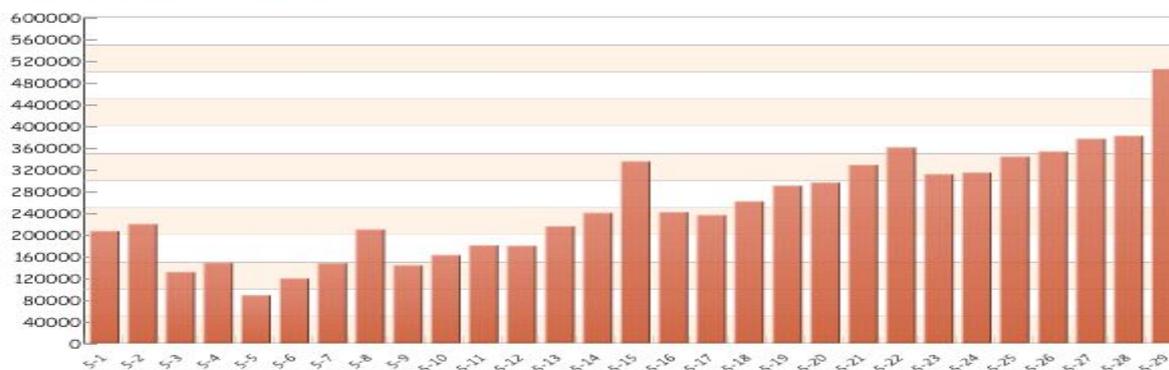
写真上：
映画「フラガール」のモデルになった福島県いわき市のスパリゾートハワイアンズによるショー

写真左：
JR西日本ブース

■中国人訪日個人旅行ビザの条件緩和

7月からは中国人の個人旅行ビザの発給条件が緩和され、従来の富裕層だけでなく、月収5000元（約67500円）程度の中流階級層へも訪日個人旅行が可能になる。このような流れのもと、万博での日本館人気が今後の中国人訪日旅行の増加につながることを期待したい。

毎日票検入園人数



万博入場者数の推移（出所：上海万博公式ホームページ）

お知らせ

第4回東北アジア(瀋陽) 輸出入商品博覧会のご案内

中国東北三省は日本志向が強い地域で、中国の中でも高い経済成長を続けています。その中国東北地方で最大の市場規模を有する瀋陽で、本博覧会が開催されます。

- ★会期：2010年9月9日～12日
前半：ビジネスマッチング 商談
後半：公開販売・マーケティング
- ★会場：遼寧工業展覧会（瀋陽市）
- ★主催：瀋陽市人民政府ほか
- ★主要出展対象：日本製品（衣料品、家具、食料品、IT製品など）
- ★出展料：2,000US\$／9㎡(小間)
- ★申込締切：2010年7月15日
- ★問合せ、申込先：
中国東北アジア輸出入商品博覧会
日本事務局 ACROSS JAPAN(株)
電話：052-710-2149
FAX：052-710-2149

講演会「爆発マーケット 中国の現状と将来」のご案内

第一部では、より充実した知的所有権センターの支援体制を説明し、第二部では、ますます拡大する中国マーケットについて、元オカシ役員村越氏が大胆に解説します。この機会に是非ご参加ください。

- ★日時：2010年6月24日(木)
16：00～17：30
- ★場所：とりぎん文化会館1階
第一会議室
- ★主催：(社)発明協会鳥取県支部、
(財)鳥取県産業振興機構、
鳥取県知的所有権センター
- ★入場料：無料
- ★問合せ、申込先：
(社)発明協会鳥取県支部
(担当：山本)
電話：0857-52-6728
FAX：0857-52-6674

第4回韓流ファッション展示商談会 のご案内

韓国の品質が優れ価格競争力を有するファッション関連の生産・取扱い企業(サプライヤー)15社が来日され、韓国貿易センターによる展示商談会が開催されます。

- ★日時：2010年6月24日(木)
10：00～17：00
- ★場所：ホテル日航大阪32階
ジェットストリーム
(大阪市中央区西心斎橋1-3-3)
- ★申込締切：2010年6月23日
- ★参加費：無料(通訳も無料)
- ★問合せ、申込先：
韓国貿易センター(KOTRA大阪)
(担当：李ムン)
電話：06-6262-3831
FAX：06-6262-4607

編集後記

鳥取県産業振興機構では6月27日(日)から30日(水)、韓国江原道経済交流団を派遣するため、現在準備を進めています。県内の電子機械や食品など様々な分野の製造企業を始め、約20の方が参加される予定です。

27日は境港からDBSフェリーに乗船し、28日の朝に東海に到着した後は、東海自由貿易地区を視察します。その後29日にかけては、いくつかの小グループに分かれ、それぞれの参加企業の要望に沿って事前に選定した江原道側企業を訪問し、双方がビジネスマッチングの可能性を探ります。この結果は、次号の本誌で皆様にお伝えしたいと思います。

また、同時期に江原道で鳥取県主催の「DBSフェリー就航1周年記念 鳥取県・江原道展示商談会」も開催されることとなっており、こちらには県内食品関連企業から16名が参加される予定です。

鳥取県企業の韓国での挑戦に注目してください！【zao】

本誌『とっとり・グローバルウォッチ』では、皆様から、内容のご提案や掲載されている情報へのご意見・ご感想をお待ちしておりますのでメールでお気軽にお寄せください。また、受信希望(無料)の方は下記までご連絡ください。

お問い合わせ：(財)鳥取県産業振興機構 企業支援部
海外支援グループ(担当：早川)

E-mail：kaigai@toriton.or.jp
TEL：0857-52-6703 FAX：0857-52-6782



とっとり貿易支援センター 貿易に関する相談はこちらの窓口へ

【東部窓口】

- (財)鳥取県産業振興機構企業支援部
海外支援グループ
TEL 0857-52-6703
- ジェトロ鳥取貿易情報センター
TEL 0857-52-4335

【西部窓口】

- (株)さかいみなと貿易センター
TEL 0859-47-3900
- 境港貿易振興会
TEL 0859-47-3905

【その他関係機関】

- 境港管理組合港湾管理委員会事務局
TEL 0859-42-3705
- ジェトロ貿易相談デスク
TEL 0859-45-2203